

福山市立柳津小学校 学校だより

いほう

2024年(令和6年)2月1日 第12号



〈福山市めざす子ども像〉

福山に愛着と誇りをもち、変化の
激しい社会をたくましく生きる子ども

〈松永中学校区めざす子ども像〉

自己を認識し、自分の人生を選択し、
表現することができる力を身につけた子ども



子どもは、必要とされて初めて大人になる

2月になりました。春の訪れが待ち遠しい今日この頃です。

さて、入学説明会で、新入生の保護者の方に次のことをお伝えしようと思います。

「子どもは、必要とされて初めて大人になる」という言葉があります。「家族の一員として必要とされている」「学級の仲間として必要とされている」というように、集団の中で個としての存在が認められていること、その子ども自身が周りから認められていることを実感していることが大切だと思います。子どもは、必要とされるといふまわりからの信頼感をもとにして、自らの生活をよりよいものにしていこうと意欲を持ち、豊かな自己実現をする生き方をしていくのだと思います。では、どんな時、自分自身が必要とされていると子どもは実感するのでしょうか。それは、第一に、子どもが自分の言いたいことや気持ちをよく聴いてもらった時です。子どもは自分や自分自身の周りに起こった出来事を人に話したがりです。それをしっかりと受け止め、聴いてあげることが大切です。聴いてもらったことで安心し、落ち着くことができます。大人は、まず素晴らしい聴き手になることが大切です。第二に、子どもが必要とされている場があることです。家族の一員として子どもに役割を果たす体験をさせることです。例えば、毎日、食べ終わった食器を片づけるなど、小さなことでも、子どもに自分が必要であると感じる役割をさせることが大切です。第三は、子どもが必要とされていると感じる言葉や態度を表わすことです。「そうしてもらってよかったよ」「そこまで考えてくれたのか」「頼りにしているよ」「さすが……だね」など、本心から「うれしい気持ち」を言葉や態度で子どもに投げかけることが大切です。このような言葉を投げかけるためには、普段から子どもの行動をよく見て、子どもの話をよく聴き、子どもに「任せること」をはっきりさせ、多少失敗してもじっと待つことが大切です。自分は『必要とされている』と思うことで、“心のエネルギー”をもらい、さまざまなことに挑戦し、試行錯誤しながら自分のやっていることに自信を深め、やがて大人へと成長していくのだと考えています。子どもたちの生き生きと輝く心身の成長を願い、学校と家庭とともに実践していきましょう。

2月3日は節分です。節分とは、季節の区切れ目という意味です。詳しくいうと「冬と春の区切れ目」です。だから、カレンダーによると、日曜日の2月4日から春になります。子どもたちには次の話をしようと思います。

節分で豆まきをすることがありますが、何のためですか？そう、鬼を退治するためです。本当は、鬼はいません。鬼は、追い払いたいものです。追い払いたいものは、自分の中にもあるかもしれませんね。怒りん坊、忘れん坊、怠け癖、片付けない癖、悪い言葉づかい、悪い姿勢……。昔から私たちは、いけない物を追い払って、春からの1年間をよいものにしようと考えてきました。だから、節分が今でも続いているのです。自分の中の追い出したい悪い鬼を自分で追い出し、2月4日からの春を、これからの1年をきれいな心でスタートできることを、校長先生は願っています。

全校朝会では、2月・3月は今の学年の学習の仕上げを本気でして、次の学年・進学の準備をしてほしいという願いも込めて「本気」の話もしようと思っています。

寒い日がまだまだ続くかもしれませんが、それも春の訪れには欠かせないもので、四季のある日本ならではの決まり事でもあります。北風の中でも凛として咲き始めた梅の花をみながら、春の到来を待ち望みたいところです。

(文責 校長)

スクールローズガーデンプロジェクトに参加

2025年（令和7年）5月18日（日）～24日（土）に、福山市で「第20回世界バラ会議」が開催されます。この「世界バラ会議」の開催を、またとない学びの場・機会と捉え、福山市の全ての小中学校では「大好き！福山～ふるさと学習～」の一環として、「Rose & Peace 教育」を進めています。

柳津小学校では「Rose & Peace 教育」の取組のひとつとして、世界バラ会議参加国のバラを育てるとともに、「ばら」を素材に、教科横断的に学習をすすめる「スクールローズガーデンプロジェクト」を実施しています。その一環として、1年生が新しく整備された花壇にバラを植えました。学校技術員の方々の説明をしっかりと聞いて、丁寧に植えた子どもたちは自分が植えたバラの品種やどこの国のバラかを覚えていました。バラを育てながら、子どもたちの心に、ローズマインド（「思いやり」「優しさ」「助け合いの心」）を育てていきます。



給食をしっかりと食べよう（食育の推進）

1月11日（木）と12日（金）に、各学年の身体測定の後、松永小学校の栄養教諭の山口先生から、給食ができるまでの工程や栄養の大切さについてなどのお話を聞きました。その後、ランチルームでの給食を学年ごとに順次実施しています。その日の給食の栄養バランスや給食をつくる様子、食事の時のマナーの話など、様々な角度から、生きる上で必要不可欠な「食」への関心を高めていけるように取り組んでいます。



新児童会役員が決まりました

1月23日（火）に児童会役員選挙がありました。体育館に全校児童が集まって立候補者の演説を聞きました。その後で児童は、投票用紙に〇を付けるのではなく、一人一台のクロムブックを使い、電子投票を行いました。その結果、6人の新児童会の執行部役員が選ばれました。みんな意欲を持って立候補した人たちです。「一人一人が楽しく過ごすことができる学校づくり」に、子どもの立場からがんばってくれることを期待しています。

